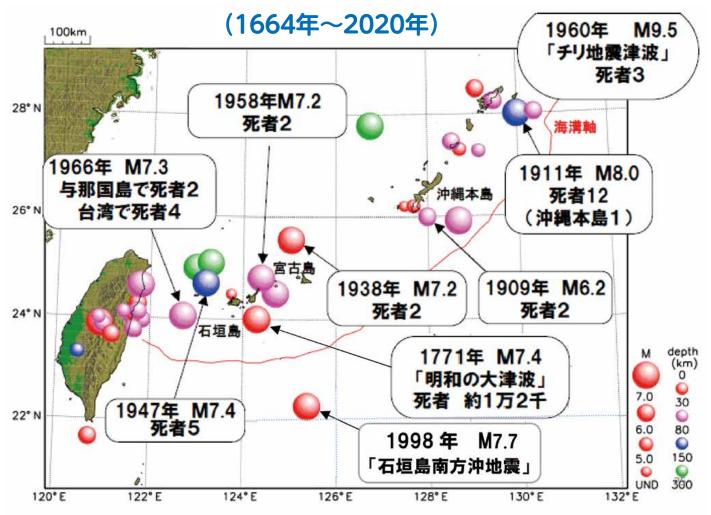
# 県内の災害情報

#### 沖縄地方の被害地震



(出典:石垣島地方気象台)

## 八重山地方の各災害について

#### ■ 台風による被害(2006、2015年)

2006年9月に、最大瞬間風速67.0m/sの台風13号が石垣島を 襲い、重傷者4名、軽傷者53名

2015年8月に、最大瞬間風速71.0m/sの台風15号が石垣島を 襲い、軽傷者は5名、45世帯90名が自主避難した。





#### ■ 地震による被害(1958年)

1958年に、石垣島北東沖でマグニチュード7.2の大きな地震が発生し、ブロック塀の倒壊や道路の陥没等の被害があった。 また、野底海岸では液状化のような現象も報告された。

### ■ 石垣島を襲来した明和大津波(1771年)

1771年4月に、石垣島でマグニチュード7.4の大きな地震が発生し、津波により石垣島の40%が潮に浸かり、八重山・宮古の 人々が命を落とした。

また、八重山・宮古では150~400年の周期で大津波が発生するという研究結果も発表されている。(平成25年8月10日沖縄 タイムスより)

明和大津波の歴史的教訓を風化させることなく、後代の市民に継承すべく、毎年4月24日から1週間は石垣市独自の「防災の 日・防災週間」と条例に定めています。

# 避難行動マニュアル

#### 避難行動判定フロー

#### ◉ あなたがとるべき避難行動は?

ハザードマップで自分の家がどこにあるか確認し、印をつけてみましょう。 家がある場所に色がぬられていますか? いいえ 市区町村からの避難情報を参考に必要なときは避難してください。 災害の危険があるので、 例外 自宅ではなく安全な場所の避難が必要です。 自分またはいっしょに避難する人(高齢 者や障がいのある人など)は避難に時 間がかかりますか? また、安全な場所に住んでいてお世話 になることができる親せきや知り合い の人はいますか?

警戒レベル3や警戒レベル4が出たら、 安全な場所にある親せきや知り合いの 家に避難しましょう。

しはい

(日ごろから相談しておきましょう)

次の3つが確認できれば、水につかる危険 があっても自宅に残り、安全を確保するこ とも可能です。

- ◆ 対水により家屋がこわれるおそれがない区域である。
- 災害の危険がある場合

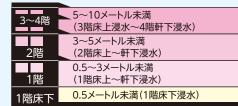


水の流れが速いと木造の家はこわれてしまう おそれがあります。



地面がけずられると家は建物ごとくずれるおそ れがあります。

2 水につかる深さよりも高いところにいる。



3 水につかっても水がひくまでがま んできる、水・食料などの備えが 十分にある場合は自宅に 残り安全確保をすること も可能。

## √□早めに決めよう! 避難先

警戒レベル3や警戒レベル4が出た

ら、市区町村が指定している指定緊

急避難場所に避難しましょう。

いいえ

大雨が降ってから避難先や避難方法を考えたのでは間に 合いません。あらかじめハザードマップなどで住んでいる地 域の災害の危険度を確認し、お世話になることができる親 せきや知り合いの人を探しておくなど、今からできる備えを 進めておきましょう。

#### 分散避難を考えよう!

新型コロナウイルス感染症などの感染症が流行している状 況では、いろんな人が集まる避難所などは感染拡大のおそれが あります。そこで、災害が発生したとき、三密(密閉・密集・密接) をさけて感染症による2次被害を防ぐことが重要です。「親せき・ 知り合いの人の家」「ホテル」「在宅避難」「車中泊」など避難所 以外の避難先に、分散して避難することも考えましょう。



ホテル・旅館に

## 親せきなどの家に







